

2011年12月 地域自然情報研究会



大学農場整備と里山の再生

～多摩丘陵の大学農場工事に当たって考えたこと・行ったこと～

倉本 宣氏 (明治大学農学部 教授)

明治大学では現在多摩丘陵に農場を建設しています。

計画前から授業のフィールドとしてきた場所でしたので、大学が地主の一員になったことでさまざまな活動が可能となりました。そのひとつが、谷戸プロジェクトで、研究室の活動として荒廃していた農地をお借りして水田にしたり、水だけ張った場所を作ったりしています。

2010年から始まった農場工事に当たって、丘陵地の地形と対応した生態系の配分が重要なことに気付きました。

農場工事では中央部の圃場や温室の部分は地形が改変されるものの、周辺部は地形が改変されないことから、周辺部に丘陵地本来の生態系の配分を維持したり、再生することを目標としました。ただし、光環境は大きく変化していたので、光の確保のため、一部の林の伐採が必要でした。当日は、谷戸プロジェクトと工事での工夫についてお話しします。

開催日時

2011年12月17日(土) 14:00～16:00

参加費

500円(ただし、GCN会員は無料)

お申し込み・お問い合わせ

お名前、ご所属、ご連絡先メールアドレスをご記入の上、下記までご連絡下さい。

mail: gcnken@gmail.com

FAX: 03-3260-3795

NPO法人 地域自然情報ネットワーク 事務局
(担当: 井本・梶並)

会場案内

新宿区環境情報学習センター 2F 研修室
(エコギャラリー新宿)



地域自然情報研究会とは?

当NPOにて2006年から、概ね月1回のペースで開催している研究会で、地生態学・景観生態学などにかかわる調査や研究、GIS情報整備や公開にかかわることなど、幅広い分野の方から話題を提供いただいています。意見や質問が飛び交う中から、新たな発想が生まれる場とするために、分野に限らず、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお本研究会では、皆様の話題提供も、随時、受け付けています。ご興味のある方は是非ともご連絡下さい。

 NPO法人
地域自然情報ネットワーク
The Geoeological Conservation Network

NPO法人地域自然情報ネットワーク (GCN) は
地生態学の視点から自然環境の保全を提案します

なお、GCNにつきましては、当会ホームページをご覧ください。
<http://www.geo-eco.net/index.html>